

事業実施状況(効果検証)

1.事業名

教育DX推進事業

2.事業経費

経費項目	金額(単位:千円)
授業支援ソフトライセンス使用料(ロイロノート) ※初年度導入費用も含む	2,640

3.KPI(重要業績評価指標)

KPI	単位	基準値	令和7年度 1年目	令和8年度 2年目	令和9年度 3年目
授業支援ソフトの使用日数割合	課題	34.9	37.0 47.9	39.0	41.0
全国学力・学習状況調査質問紙(授業が分かると感じる児童生徒の増加)(小学校 国語)	割合	92.2	92.4 89.7	92.6	92.8
全国学力・学習状況調査質問紙(授業が分かると感じる児童生徒の増加)(小学校 算数)	割合	86.5	86.7 79.7	86.9	87.1
全国学力・学習状況調査質問紙(授業が分かると感じる児童生徒の増加)(中学校 国語)	割合	90.2	90.4 79.5	90.6	90.8
全国学力・学習状況調査質問紙(授業が分かると感じる児童生徒の増加)(中学校 数学)	割合	79.5	79.8 64.4	80.1	80.4

上段:目標値
下段:実績値

4.事業評価・効果検証

授業支援ソフト提供会社の勉強会や認定地域コミュニティによる情報共有の場を学校へ周知することで、教職員のソフト活用を支援していたものの、全国学力・学習状況調査質問紙の結果では、授業が分かると感じる児童生徒の割合増加が達成されていない課題がある。短期的な利用状況では学習の改善効果を客観的に確認することが困難なため、継続的な利用を促進し、長期的なデータ蓄積を実現することが必要であると考えられる。また、ソフトの利用目的を明確化し、具体的な操作例や活用ケースを提案することで、効果検証プロセスを効率化し、教育の質向上を目指す。